

迎春

すべての世代が「輝き」、
とともに創造する「未来」に向けて

播磨町長

清水ひろ子



新年 明けましておめでとうございます。
各ご家庭におかれましては、夢と希望にあふれた輝かしい新年を迎えられたことと思います。今年一年のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

さて、最近では世界的にも異常気象が続く、国内でも多くの自然災害が発生しています。幸いにも播磨町は比較的恵まれた地形を持つまちであることに感謝しつつ、今年もさらなる安全性と快適性を目指してまいりたいと思っています。そんなまちづくりを進める播磨町では、この1〜2年でまちの様子が大きく変わろうとしています。今年の3月にはまちの東西を貫く「町道浜幹線道路」の工事が完了し全線開通いたします。利便性の向上とともに、生活道路の安全性がより高まればと願うものです。また、同時期に阿閉漁港埋立地を公園とする工事も完成いたします。軽スポーツや地域行事などでご利用いただき、コミュニティの形成や健康増進に役立てばと思っています。その他、土山駅南町有地、町民プール跡地の活用など、重要な整備が最終段階にきています。今年も子どもたちから高齢者まですべての世代が輝き、播磨町発展の原動力として、ご一緒に「まちの未来」をつくりあげる一年でありたいと思っています。



真の分権型社会を目指して

播磨町議会議員

宮尾 尚子



未^まの年、新年明けましておめでとうございます。
昨年は、県下での風水害もさることながら、御嶽山^{おんたけさん}の噴火や、長野県北部地震など、全国各地で天変地異による被害が相次ぎました。

住民の皆さまにおかれまして今年も、干支の未のように、周囲との調和を図りながら安穏で和やかな年になりますようご祈念申し上げます。
さて、全国の多くの町村では「消滅の危機」といわれている状況の中、徹底した行財政改革を断行するとともに、様々な活性化の取り組みを実施しております。しかしながら、税財源の偏在は著しく、大都市への税財源の一極集中は決して是正されてはおりません。

このような状況の中、地域のご責任を持って決める。このことこそが地方分権の基本であり、真の分権型社会の実現については、我々地方議員に課せられた重大な責務であると考えております。
それぞれの町が地域の実情に応じて、自らの発想で特色ある町づくりを進めていくためには、更なる地方分権改革を着実に進めていく必要があります。
今年も本町議会議員の改選の年です。任期が満了するまで、あとわずかしか残されていますが、14人の議員全員が更なる郷土愛を持ち、精進を重ねて参りますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

あけまして
おめでとう
ございます

議長 宮尾 尚子

副議長 福原 隆泰

議員(議席順)

- 木村 晴恵
- 神吉 史久
- 奥田 俊則
- 宮宅 良
- 山本 雅之
- 河野 照代
- 岡田 千賀子
- 藤原 秀策
- 松下 嘉城
- 藤田 博
- 松岡 光子
- 田中 久子

公職選挙法により、政治家は、年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。ご理解とご協力をお願いします。

